

入賞
おめでとう

たけのこ。

千葉県 野田市立中央小学校 1年 柳澤 凧瑠 指導者 逆井 奈保美

★なんだろこれ？ 竹に花がさいた

「120年にいちど花がさく。花がさくと、その竹林はかされる。」たいいんしてきた86さいの大バァーバがいった。「この竹がかれるときわたしはしぬ。」ぼくはおもった。「からさない。からしちやいけな。大バァーバをしなせちやいけな。」と。これが花ならば、たねができるはず。竹がかれてもたねはのこるはず。たねを見つけよう！ たねからめを出させよう！



▲さいた竹の花

これってほんとうに花？ しらべてみよう！

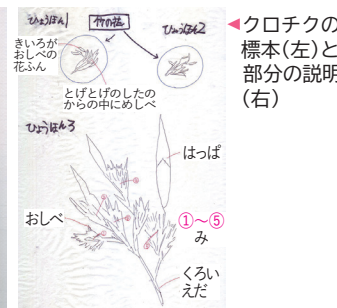
- のう林水さんしょうのホームページの『タケの生態にせまる』で、竹のことがわかった。
- ▶ぼくのこの竹は「クロチク」で「花」だとおもう。でも、ほんとうかどうかたしかめたい。
- 竹の花のけんきゅうをしているひさもとようこ先生にでんわをしてみる。たねのとりかたをたずねる。
- ▶「クロチクはたねができない」とのことえ。ショックだった。たねがとれなければかれちゃう。先生にいろいろおしえてもらいたいとおねがしたら、あってもらえることになったので、しょくぶつひょう本をつくって見せようとおもった。

ひょう本をつくっておこう

しょくぶつひょう本のポイント→クロチクとはんだんできるばしょ→「くろいえだ」と「はっば」

- ・くろいえだが2本にわかれている。
- ・おしべとめしべがわかる。
- ・みができている。
- ・はっばがついている。

いいばしょを見つけた。
(※標本の作り方は省略。)



◀クロチクの標本(左)と部分の説明(右)

▶ひさもと先生に「じょうずなひょう本です。ちゃんとポイントをおさえられています。」とほめてもらえて、うれしかった。

さいせい竹・しんせい竹

- ひさもと先生から「クロチクは地下けいでさいせいする」とおしえてもらった。→地下けいでさいせいについて、『富士竹類植物園』のかしわざ先生をしょうかいしてもらおう。
- メールのやりとりをする。

▶いまのはちうえではかぶが小さすぎるので、うえかえをしなればいけな。また、花のさいた竹をねもとからきる。

- *さいせい竹（花をさかせる竹）が出てきたらきらない。
- *しんせい竹（花をさかせない竹）が出てくるのをまつ。

クロチクのうえかえ大きくせん

[よいするもの] 大きいはち／ばいよう土／はちぞこ石／のこぎり／はさみ／あしゆくぶくろ／そうじき

- ①はさみでえだをきりおとす。
- ②きりおとしたえだをあしゆくぶくろに入れる。
- ③クロチクをきりたおすきぎょうをする。
- ④大きいはちにはちぞこ石を入れ、ばいよう土を入れる。
- ⑤もとのはちからとり出したものを、大きいはちにうえかえて、うえかえしゅうりよう。(2022年6月30日)



クロチクふっかつけいかく しんせい竹出てこい！

しんせい竹が出てくればふっかつだ。

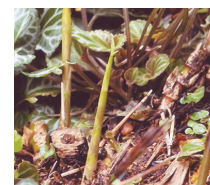
うえかえたクロチクのかんさつ

- (7月1日)さいせい竹…まだ花をさかせていない。
- (7月6日)花がさいた。なん本もおしべがのびている。おしべはじぶんのめしべには花ふんをつけない。
- (7月8日)きりたおしたきりかぶからぐちよぐちよのえきが出ている。→じゅえきのあまいせいぶんがはっこうしたものらしい。
- (7月23日)きゅうにのびたものがある。



▲花がさいた(7/6)

- (7月26日)たけのこはっ見！ ひさもと先生にかくにんする。やったー、ふっかつするぞ！
- (8月20日)クロチクがふっかつした。たけのこがいっぱい出た。ぜんぶしんせい竹になった。がんばれ！ 大きくなれ！



▲たけのこ(7/26)

8/20の様子▶



これはさきせき？！

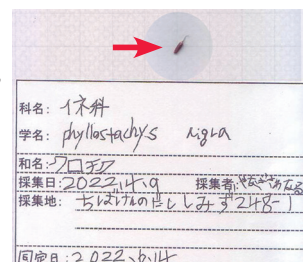
7月21日。とうきょう大学のちばえんしゅう林にひさもと先生にあいにいった。25年前にさいたモウソウチクのひょう本を見せてもらった。そのときさいしゅしたたねも見せてもらった。

先生はクロチクの花のひょう本はもっていないということだったので、あげることにした。先生に、なぜクロチクはたねができないのかたずねると、「クロチクはマダケ、ハチクのなかまだからたねはつくらない」ということえだった。

クロチクのみつぶぶんを先生とむいてみる

もっていったクロチクのみつぶぶんをひさもと先生とむいてみる。→見つかるのは、みじくなたねばかり。

あきらめられずにひたすらみをむくと、たねをはっ見！ 先生は「ほんとうにはじめて見た。凧瑠さんがはじめてクロチクのたねを見つけた人」といった。ぼくはすごうれしかった。



▲見つけたたね(矢印の先)

まだいえにみがたくさんあるから、その中からたねを見つけて、そのたねをうめて、そだててみたい。

たねを見つけるよ

- きりたおしたクロチクにさいていた花のみを、1つずつむいて、たねを見つける。
- ①まずはみをぶんかい。
- ②みをむいたら1つずつふくろに入れる。
- ③しゅうけいしやすいように100こずつにわける。



※作品には「花のみ」と記述されているが、開花前のつぼみも含む。

くみ1360このけっか

みのからの中にあつたもの	こすう
たね	0
みじゅくなたね	1243
かい花まえ	117
からっぽ	0
ごうけい	1360

くこのけっかからわかつたこと

- たねは見つからなかつた。みのほとんどがみじゅくなたねだった。
- めしべは小さくてほそながいまま。
- みのからの中が空っぽのものがないことから、このクロチクにはササノミモグリバエはこなかつた。(*)
- かい花まえのおしべがあることから、4/9～6/30までのきかんをかながえると、花はじよにかい花する。

(*)ひさもと先生からマダケ、ハチクが種子をつくらない説明を聞いた中に「他の種類の竹の花から『ササノミモグリバエ』の幼虫が見つかったことがあり、そのハエは花が咲くと花にもぐりこむようだ。そのようなケースもあるかも。」と聞いていたことによる考察。

※ひさもと先生に渡す植物標本作りの詳細は省略。



◀製作途中(左)先生に渡したもの(右)

かんそう

「竹の花がさいて、竹をからしてはいけな」ということからはじまったけれど、と中から「たね」にかわってしまった。じぶんがたべたフルーツとか、どんなたねでもとって、かわかして、うめて、めが出るのをまつのがすきなぼくだからだろう。

1つ見つかったんだから、まだまだぜったいにあるはず。たくさんの人に出あえて、はなしができてよかった。「竹の花」に出あえてよかった。「竹の花」ありがとう。

さいごに

こんかいは8/22までのことまでだけど、「きょうだいをさがせ」プロジェクトをはじめている。日本の中でちらほらきく、かい花している花はきょうだいかぶだろうとおもうので、じょうほうをもとに、日本中のきょうだいがしのたびをはじめている。8/31までで出あえたきょうだいは2かしよ。

